

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前 | | 稲岡 毅 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 |
| | | | 職 名 | | 教授 |
| 領域 | 業務 ウエイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウエイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目「物理学I・II」、学部共通科目「基礎ゼミI・II」、専門教育科目「物理数学I・IV」、大学院教育科目「素励起物理学」(前期課程)、「表面物理学」(後期課程)を担当する。 ・研究室では、学部4年次生、前期課程学生の研究指導を行う。 | | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目「物理学I・II」、専門教育科目「物理数学I・IV」「基礎ゼミI・II」「物理学トピックス(1回分)」、大学院教育科目「素励起物理学」(前期課程)の授業を行った。学部の各科目で小テストを2回行い、学生の自己学習を促した。研究室では、4年次生の研究指導を行った。また、副指導教員として、前期課程1年次生、2年次生の研究指導を行った。 |
| 研究 | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際誌に学術論文を投稿する。 ・所属する学会、研究会で研究発表を行う。 ・科研費の申請を行う。 ・他大学の研究者と共同研究を行う。 | | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・国際誌に学術論文が1編掲載され、解説記事1編を投稿中(どちらも第3著者)。年度内に国際誌に学術論文1編を投稿する予定(第1著者)。研究時間の制約のため、執筆が遅れた。 ・国内学会で4件(第1発表者2件、第3発表者2件)、国際学会で1件(第4発表者)、研究会で2件(第1発表者1件、第3発表者1件)の研究発表を行った。 ・科研費(基盤研究C)の申請を行った。 ・他大学の研究者との共同研究のための議論を行った。 |
| 社会 貢献 | 0.05 | 学部授業科目「物理学I・II」、「物理数学I・IV」を、公開授業として社会人および高校生に公開する。 | | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・学部授業科目4科目を公開授業として社会人および高校生に公開し、2名の社会人を受け入れた。 ・国内学会誌、外国学会誌の論文査読をそれぞれ1回、延べ5回行った。 ・香港から来学した理数系高校生約30名に共通教育科目の授業(1回分)を公開した。 |
| 管理 運営 | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部認証評価担当の副学部長として、学部自己評価書を点検、手直しし、今年度の外部評価受審を統括する。自己評価と関連して、学部自己評価委員会の副委員長、全学の大学評価センター評価企画員、社会連携に関する自己点検・評価委員会委員を務める。また、全学学生生活委員会委員も勤める。 ・所属系の入試検討委員を務める。募集要項の点検、入試方法の検討などを行う。 | | 0.40 | <ul style="list-style-type: none"> ・外部認証評価担当の副学部長として、学部・研究科の自己評価書の点検、手直しを行い、外部評価受審を統括した。また、外部評価と関連して、学部自己評価委員会副委員長の役割を果たした。学部自己評価委員長に協力して、法人評価のための現況調査票作成の準備を開始した。全学の大学評価センター評価企画員、社会連携に関する自己点検・評価委員会委員を務めた。なお、外部評価の負担を考慮され、当初指名されていた全学学生生活委員会委員は免除された。 ・所属系の入試検討委員を務め、募集要項の点検などを行った。 |
| 進路 指導 | 0.05 | 研究室の指導教員として、就職、大学院進学などについて学生の相談に応じ、学生の進路模索を支援する。 | | 0.05 | ・研究室の指導教員として、学生の就職活動に気を配り、就職を支援した。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前 | | 瓜生 康史 | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | | 職 名 | 教授 |
|--|---------------------|---|-----|---|---|-----|----|
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | | |
| 教育 | 0.30 | 「物理学入門I, II」「プログラミング入門」「計算物理学」「基礎ゼミ, II」「数値解析演習II」の一部、「相対論的宇宙物理学入門」(大学院)の講義及び卒業研究指導を行う。学生の理解度を把握しつつ講義を進めるよう注意する。コンピューター関連科目ではTAを採用し実習時の質問にきめ細かく答えながら講義を進める。 | | 0.40 | 学部向け講義については毎回講義の補助教材としてプリントを準備, 学期中のレポートによる課し学生の理解度の把握, 実習の補助のためのTAの活用など, 計画通り行った。大学院講義は対象学生がいなかったため開講せず, その時間を卒業研究に充て, 専門の相対論的回転星の課題の他に, 星形成の課題について卒業研究の指導をした。 | | |
| 研究 | 0.45 | 磁場を伴う高密度星計算法の定式化と数値計算コードの開発を進め, 関連論文を2編投稿することを目標にする。共同研究者との相互訪問を実現するか, またはテレコンファレンスを利用して協力関係の緊密化を図る。関連する国際会議や学会において研究発表を行う。科研費基盤研究に応募する。 | | 0.35 | 磁場を伴う高密度星に関する論文が Physical Review D Rapid communication に掲載された。連星高密度星の新しい数値計算法の開発に関する論文をPRDに投稿した。週1回の定期的なテレコンファレンスを通じて共同研究を継続した。今年度の科研費は不採択だったため, 応募内容を改善し再応募した。 | | |
| 社会貢献 | 0.05 | 物理系公開講座の開催に貢献する。パルサーを解りやすく解説するための教材開発を試みる。 | | 0.05 | 物理系公開講座に研究室の学生を参加させ, インターネット上の天文学・宇宙物理学のコンテンツの紹介などを行った。パルサーを理解するための教材開発を行った。教材開発は来年度も継続する。 | | |
| 管理運営 | 0.15 | 理学部副学部長として, 主に研究推進委員会に関する業務を行う。また, 理学部各種委員会での業務に貢献する。 | | 0.15 | 理学部副学部長として, 主に研究推進委員会委員長の業務を行った。また, 理学部各種委員会および全学の各種委員会での業務に貢献した。 | | |
| 進路指導 | 0.05 | 研究室内の4年次学生の進路に関する助言等を行う。また, 物理系の宇宙科学に関係する進路を希望する学生に対し助言等を行う。 | | 0.05 | 研究室の学生4名の進路に関する助言等を行った。また, 3年次学生で宇宙科学を志望する学生にウインタースクール, スプリングスクール等への参加への助言や推薦書作成を行った。 | | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | | |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。 | | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前 | | 梯 祥郎 | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | 職 名 | 教授 |
|--|---------------------|--|-----|---|---|----|
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | |
| 教育 | 0.40 | 物理学I, 物理学II, 物理数学II, 物理数学III, および物性理論の講義をとおして学生の基礎学力向上に努める。 物理系主任として教育内容・システムの改善に努める。 | | 0.40 | 物理学I, 物理学II, 物理数学II, 物理数学III, 物性理論, および物理トピックスの講義をとおして学生の基礎学力向上に努めた。 物理系主任として教育内容・システムの改善に努めた。 | |
| 研究 | 0.30 | 長距離非局所動的CPA理論を定式化し, モデル計算によって有限温度における非局所電子相関の役割を明らかにする。第1原理運動量依存電子相関変分理論を大学院生と共に発展させる。ユーロピウム化合物の異常物性に対する現象理論の確立。 | | 0.30 | 関連する原著論文2編を出版できた。第1原理運動量依存電子相関変分理論に基づく計算は進行中。 | |
| 社会貢献 | 0.05 | 予定された社会貢献はないが, 学内外からの要請があれば, 前向きに対応する。 | | 0.05 | 教員免許更新講習担当講師として貢献する予定であったが今年度受講者がいなかったため, 次年度行うことになった。 | |
| 管理運営 | 0.20 | 物理系主任としてその業務を十分に果たす。 系内委員の業務・行事予定・課題一覧を作成し, 系の年度内計画を具体化する。 主任と関連する委員会の委員として学部・全学の運営に貢献する。 | | 0.20 | 物理系主任としてその業務を十分に果たした。 系内委員の業務・行事予定・課題一覧を作成し, 系の年度内計画を具体化した。 主任と関連する委員会の委員として学部・全学の運営に貢献した。 | |
| 進路指導 | 0.05 | 研究室所属学生の就職・進路に対して適切な助言・指導を行う。 | | 0.05 | 研究室所属学生全員の就職・進学を達成した。 | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。 | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前 | | 堺 英二郎 | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | 職 名 | 教授 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|----|
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | |
| 教育 | 0.40 | 卒研究生の研究指導を行う。 新入生の学力向上のために、物理学Ⅰ・Ⅱ、物理学基礎演習Ⅱなどで成果を上げる。 カリキュラムの改善に取り組む。来年度に向けて授業担当見直しを進める。 | | 0.40 | 卒研究生に対して、本人が置かれている状況に柔軟に対応してきめ細かい指導を行った。物理学ⅠⅡや物理学基礎演習Ⅱの授業を担当し、新入生の基礎学力の向上に努めた。カリキュラムについては、カリキュラム検討委員として、来年度の授業分担の見直しを進めた。 | |
| 研究 | 0.30 | 物理学基礎論の研究をさらに進展させる。 | | 0.30 | 力学、および相対論的力学の理論体系を基本原理に基づいて構築する研究に取り組み、重要な成果を得た。 | |
| 社会貢献 | 0.05 | 理学部体験ツアーや出前講座などに可能な協力をする。 担当授業を公開授業として一般に公開する。 | | 0.05 | 理学部体験ツアーや出前講座には具体的な貢献はできなかった。 | |
| 管理運営 | 0.15 | 教授会、系会議等に主体的に参加し、学部・学科の運営に協力する。 | | 0.15 | 教授会、系会議等に主体的に参加した。また、OIMAP運営委員として、OIMAPの運営にも貢献した。 | |
| 進路指導 | 0.10 | 卒研究生の進路指導を行う。 | | 0.10 | 卒研究生2名の進路指導を親身に行い、2名とも無事就職させることができた。 | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前 | | 前野 昌弘 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 |
| | | | 職 名 | | 准教授 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.35 | <ul style="list-style-type: none"> ・タブレットPCを用いた物理シミュレーション教材のコンテンツを整備する。 ・Webを利用して講義録、教材提供などを行う。 ・高校教員などと連携も図りつつ、「教職実践演習」の授業内容を充実させる。 | | 0.40 | <ul style="list-style-type: none"> ・「自然科学のための数学」においては初年度向けの数学教育のためのコンピュータプログラムを多数作成し、Webにて教材提供を行った。 ・「数値解析演習」で物理シミュレーション・プログラミングの教材を作成、使用した。 ・「時間と空間」がプロフェッサー・オブ・ザ・イヤーを受賞した。 |
| 研究 | 0.35 | <ul style="list-style-type: none"> ・超弦理論または量子重力などの分野の研究を行い、専門誌に論文を投稿する。 | | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・他大学教員と共同研究にて、論文を準備中 |
| 社会貢献 | 0.15 | <ul style="list-style-type: none"> ・「青少年のための科学の祭典・沖縄大会」の実行委員長、物理系の公開講座の実行委員を務める。 ・球陽高校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員を務める。 ・高校の物理教員との連携事業を進める。 ・小学校などの初等教育への出前授業等も積極的に展開していく。 | | 0.15 | <ul style="list-style-type: none"> ・出前授業は高校1校、小学校5校に向けて行った。 ・科学の祭典、青少年科学作品展などのイベントに参加した。 ・公開講座は二つ実施した。 ・スーパーサイエンスハイスクール生徒研究発表会、九州高等学校理科学徒研究発表会において審査員を務めた。 |
| 管理運営 | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・物理系の広報委員として、物理系ホームページを管理する。 ・高等学校への広報活動を行う。 | | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの管理を行った。 ・高等学校には物理系のパンフレットの配布を行った。 |
| 進路指導 | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学院生、卒業研究生の進路について、相談に乗る。 | | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・今年の卒研究生は大学院志望であり、進学先についての相談を受けた。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前 | | 安田千寿 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 物理系 |
| | | | 職 名 | | 准教授 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.35 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当講義のシラバスを受講者へ周知する。 ・学生の修得度の現状把握に努めながら講義を進める。 ・学生が自学自習できる環境を整える。 ・英語による講義を行う。 ・担当する大学院生の学会発表を支援する。 | | 0.35 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当する科目のシラバスや学生の自己評価のためのチェックシートを作成配布し、学生の自己学習を促した。 ・1年次や2年次の科目において、アンケートや基礎力テストを行い、高校における物理や微分積分の修得状況等を知り、授業の進め方に役立てた。 ・大学院の担当講義を受講している学生がいつでも自己学習できるように、いつでもログインできるコンピューターを用意した。 ・大学院の担当科目において英語による講義を行った。 ・担当する大学院生2名の「物性若手夏の学校」への参加や日本物理学会での講演の支援をした。 |
| 研究 | 0.35 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究に必要なコンピューター計算資源を獲得する。 ・論文を作成、投稿する。 ・研究成果を学会等で発表する。 ・科研費の研究課題を推進する。 ・学内や他大学等との共同研究を推進する。 | | 0.35 | <ul style="list-style-type: none"> ・東京大学物性研究所スーパーコンピューターシステムの共同利用申請を行い、プロジェクトが採択された。 ・論文を出版した。 ・研究会や日本物理学会で研究成果を発表した。 ・科研費の共同研究者と研究打ち合わせを行い、各自の担当する部分の研究を推進した。 ・他大学の研究者との共同研究を推進した。 |
| 社会貢献 | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当する授業を一般市民や高校生に公開する。 ・学外共同利用施設の運営に協力する。 | | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当する科目「物理学入門I」と「物理学入門II」を一般市民や高校生に公開し、のべ8名の一般市民に授業を公開した。 ・学外共同利用施設の運営に協力した。 |
| 管理運営 | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学部図書委員として、図書に関する業務に従事する。 ・非常勤講師室の世話人として、必要な環境を整える。 ・琉球大学営利企業役員等兼業審査委員として、業務に従事する。 ・大学入試や大学院入試に関するデータを収集する。 ・その他の委員会委員の業務に従事する。 | | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学部の図書委員として、業務に従事した。 ・非常勤講師室の世話人として、業務に従事した。 ・琉球大学営利企業役員等兼業審査委員として、業務に従事した。 ・入試に関連するデータを収集した。 ・その他の学内委員の業務に従事した。 |
| 進路指導 | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当する卒研究生・大学院生の就職や大学院進学に関する指導を行う。 | | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当する卒研究生の大学院進学や就職に関する指導を行った。 ・担当する大学院生の進学や就職に関する指導を行った。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前 | | 柳澤 将 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 |
| | | | 職 名 | | 准教授 |
| 領域 | 業務 ウエイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウエイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.30 | 今年度より受け持つ物理系の専門科目講義で、反転授業と呼ばれる、学生に事前の予習を行なわせて講義に臨ませることを試みる。学習進度・学力も考慮しつつ、適度な量の予習教材を準備する。 | | 0.30 | 今年度より担当の「波動論」で前もって予習教材を提供して進めた。実際に予習するかどうかは学生によりまちまちであったが、講義後アンケートでは「理解の助けになる」など、全体的に好評であった。また、波動の視覚化に動画も活用し、学生の興味を喚起できたようだ。 |
| 研究 | 0.35 | 今年度から科研費若手Bの獲得が決定したが、それをもとに他の研究グループとの共同研究も進め、昨年度より高品位な論文誌への論文掲載を目指す。研究グループの大学院生が増えたので、論文投稿につながるよう研究指導を進める。 | | 0.35 | 研究分担者を務める新学術領域研究の採用が決まり共同研究の案件も増えた。自身が著者を務める論文が査読付国際誌5報掲載に至り、まずまず満足であった。指導する修士課程学生の成果から論文投稿できたものや、今後論文化できそうなテーマが出てきて、研究指導の面でも達成感があり、よかったと思う。 |
| 社会貢献 | 0.10 | 年に2回以上、学会、会議参加・発表をするとともに、国際論文誌の査読依頼も積極的に引き受け、研究分野の活性化に貢献する。理学部ツアーをはじめとする、一般向けの施設開放や講演などにも協力する。 | | 0.10 | 3件の招待講演依頼や、学会・会議での発表があり、自身の研究を広める事ができた。国際誌の査読も3件引き受けた。 |
| 管理運営 | 0.15 | 理学部や物理系での委員の仕事を効率的にこなし、系会議でも以前より発言・提案をし、系の運営に協力する。 | | 0.15 | 委員の仕事を効率的にこなし、系での緊急時の対応が必要な件に協力することもできた。発言する機会を以前よりも増やせた。 |
| 進路指導 | 0.10 | 昨年度と同様、指導教員として、学生個人の学習や進路の相談相手を務めるのに加え、上の学年の指導教員とも連絡をとり、就職などの進路について学生により有益な情報を与えられるよう努める。 | | 0.10 | 学生個人の相談相手となる機会が何度かあった。教職志望の学生のリフレクションシートへのコメントを通じ、指導・アドバイスをすることができた。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウエイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウエイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|
| 名 前 | | 小田 一郎 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 |
| | | | 職 名 | | 教授 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.40 | 「初等量子力学」「量子力学」「量子力学特論」では、学生たちが量子力学の重要な事項を理解できるように、わかりやすい授業を行う。「情報科学演習」では、すべての学生が「情報リテラシー」の基礎的な能力がつくように、毎回オリジナルなプリントを用意して授業を行う。卒業研究学生2名、修士課程の学生1名を指導する。 | | 0.40 | 計画通り実行できたので、評価できる。 |
| 研究 | 0.30 | この期間中に、現象論や量子重力理論に関する論文を3本以上専門雑誌に出版することを目指す。 | | 0.30 | 海外専門雑誌に3本の論文が掲載された。 |
| 社会貢献 | 0.10 | 理学部の広報委員として、オープンキャンパス等の活動に参加したい。 | | 0.10 | 理学部の広報委員として、オープンキャンパス等の活動に参加し、講演を行った。 |
| 管理運営 | 0.10 | 理学部の広報委員、将来計画委員に選ばれているので、管理運営に寄与したい。 | | 0.10 | 委員会にはほとんど出席し、活動も行ったので評価できる。また、自己評価の委員会にも代理で出席した。 |
| 進路指導 | 0.10 | 卒論ゼミの学生2名や修士課程2年生1名の進路指導の相談にのりたい。 | | 0.10 | 卒論ゼミの学生2名や修士課程2年生1名の進路指導の相談にのった。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前 | | 仲間 隆男 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 |
| | | | 職 名 | | 教授 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.30 | 教育補助としてTAを活用する。 物理実験II(専門科目), 物理実験 IV(専門科目) 卒業研究: 卒研究生(6人)の指導 大学院前期課程学生(4人)および後期課程(2人)の指導 大学院前期科目: 物質地球科学特別研究・物質地球科学特別演習など | | 0.30 | 共通教育科目「物理学入門I&II」および「時間と空間」を担当した。 専門科目「物理学実験II&IV」を担当, 実験補助でTAを活用(4名). 卒業研究指導(6名)および研究指導(修士4名, 博士2名) |
| 研究 | 0.30 | 学会への参加 国内および国際学会への参加 論文発表 論文および紀要の投稿 外部および学内資金の獲得を目指す 共同研究を行う | | 0.30 | 物理学会参加, その他研究会, 研究発表27件. 国際会議研究発表9件. 発表論文22編. 東大物性研と共同研究. |
| 社会貢献 | 0.10 | オープンキャンパス, 理学部体験ツアーへの参加 | | 0.10 | 理学部体験ツアーにて研究室の紹介を行った。 |
| 管理運営 | 0.20 | 系内委員: TA担当委員, 学部委員: 予算編成検討部会, 施設整備委員, 「職業と人生」世話人 極低温センター長, ハラスメント等人権侵害相談窓口 | | 0.20 | 系内, 学部, 全学委員として運営に協力した。極低温センター長として運営に携わった。 |
| 進路指導 | 0.10 | 卒研究生および大学院生へ進路指導を行う | | 0.10 | 進路指導を適宜行った。大学院進学希望者4名, 民間企業1名。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|--|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前 | | 二木 治雄 | 所 属 | | 理学部物質地球科学科物理系 |
| | | | 職 名 | | 教授 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目, 学部専門科目を担当する。 ・大学院教育科目を担当する。 ・共通教育科目, 学部専門科目の学生による授業評価を実施する。 ・オフィスアワー等の時間を確保し, 学生の学習上の質問や相談に積極的に対応する。 ・卒業研究生, 修士学生の研究指導を行う。 ・実験科目に教育補助としてTAを活用し, TAを指導する。 | | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・共通教育科目, 学部専門科目を担当した。 ・大学院教育科目を担当した。 ・各科目の授業評価を実施した。 ・学生からの質問に丁寧に対応した。 ・卒研究生の教育研究指導および修士学生を教育研究指導し学会発表等を行った。 ・物理学実験にTAを活用し, TAを指導した。 |
| 研究 | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文を投稿, 発表する。 ・所属する学会等で研究発表を行う。 ・国際会議等で発表を行う。 ・他大学あるいは他研究所と共同研究を行う。 | | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文(国際誌)を投稿し, 論文化した。 ・日本物理学会や国際会議等で研究発表を行った。 ・外部資金の獲得の準備, 応募を行なった。 ・他大学と国内的共同研究を行った。 |
| 社会 貢献 | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学部体験タワー, オープンキャンパス等で研究や研究室紹介を行う。 ・学会・研究会等の委員を務める。 ・学内・学外からの要請があれば, 積極的に対応する。 | | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学部体験タワー, オープンキャンパスで研究紹介, 研究室紹介を行った。 ・学会・研究会等の委員を務め, 積極的に対応した。 ・学内・学外からの要請があるときには, 積極的に対応した。 |
| 管理 運営 | 0.25 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学内の委員として, 大学の管理運営に参加する。 ・理学部内の委員として部局の運営に寄与する。 ・系内の委員として系の管理運営に参加する。 ・学内からの要請があれば, 積極的に対応する。 | | 0.25 | <ul style="list-style-type: none"> ・大学内の委員として, 大学の管理運営に積極的に参加し, 対応した。 ・理学部内の委員として部局の運営に寄与した。 ・系内の委員として系の管理運営に参加した。 ・学内からの要請があるときには, 積極的に対応した。 |
| 進路 指導 | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究の学生の就職・進学等の指導を行う。 ・修士学生の就職・進学等の指導を行う。 ・学生の就職・進学等の進路についての相談等に積極的に対応する。 | | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・卒業研究の学生の就職・進学等の指導にあたった。 ・修士学生の就職・進学等の指導にあたった。 ・学生からの就職, 進学等の進路についての相談等に積極的に対応した。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|
| 名 前 | | 深水 孝則 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 |
| | | | 職 名 | | 教授 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.35 | 共通教育科目の「物理学I、II」、学部専門科目の「物理実験Ⅲ、Ⅳ」、「物理学基礎実験」、大学院教育科目の「誘電体論」の講義を担当する。「物理学I、II」の講義は、適宜小テストなどを行い学生の理解度を確認しながら授業を進める。研究室に配属された卒業研究生5名の卒業研究の指導を行う。 | | 0.35 | 学部の共通教育と専門の講義及び大学院の講義を担当した。また、物理学I、IIの講義で小テストを実施し教育的効果を上げた。卒業研究生5名の研究指導を行った。 |
| 研究 | 0.40 | 国際的な学会誌への論文の投稿を行うことを目標として、研究を推進する。 | | 0.40 | 今年度は国際誌に2編の論文を投稿した。 |
| 社会貢献 | 0.10 | 他大学の非常勤講師として、専門性を生かした教育支援を行って学部学生のコンピュータ技術の向上を図る。教員免許更新のための講義を行う。 | | 0.10 | 他大学で情報関係の講義を行い、学生のコンピュータ技術の向上を図った。今年度、受講者がいなかったため教員免許更新の講義は開かなかった。また、社会貢献に関する依頼がなかったため、その他の社会的貢献は行わなかった。 |
| 管理運営 | 0.10 | 1年次指導教員、全学の国際交流委員会委員、教員免許状更新講習実施委員として管理運営に参加する。 | | 0.10 | 1年次指導教員、全学の国際交流委員会委員、教員免許状更新講習実施委員として積極的に活動を行った。 |
| 進路指導 | 0.05 | 研究室に所属している卒業研究生の進路や就職先についてサポートを行う。 | | 0.05 | 研究室の卒業研究生の就職に関してサポートを行った。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|----|
| 名 前 | | 眞榮平 孝裕 | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | 職 名 | 教授 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | |
| 教育 | 0.30 | 学部学生に対しては、相対論と統計力学特論の講義と卒業研究Iのセミナー指導を行う。また、大学院学生に対しては、物性学特論の講義と特別演習、特別研究の指導を行う。相対論についてはノートパッドを導入し、学生の理解度を把握しながら視覚的に授業を進めていく。物性学特論については、物性物理学の基礎的な事項から出発して、研究の最前線で行われているテーマについても講義する。卒業研究生、大学院生を指導する。講義時間以外についても、学生からの質問があれば積極的に指導する。 | | 0.30 | 学部学生に対しては、力学の講義と卒業研究Iのセミナー指導を行った。力学については口頭試問を実施し、学生の理解度の把握に努め、授業に活かした。また、大学院学生に対しては、物性学特論の講義と特別演習、特別研究の指導を行った。物性学特論については、物性物理学の基礎的な事項から出発して、研究の最前線で行われているテーマについても講義を行った。卒業研究生、大学院生を指導した。講義時間以外にも、学生からの質問があり指導した。 | |
| 研究 | 0.40 | 科研費基盤研究(C)「強相関化合物におけるf電子の局在・非局在転移近傍の一粒子描像に関する研究」研究の遂行のため解析を進める。関連論文を国際紙に投稿することを目標にする。関連する国際会議や所属する学会で研究発表を行う。他大学あるいは他研究所と国内的共同研究を行う。 | | 0.40 | 科研費基盤研究(C)「強相関化合物におけるf電子の局在・非局在転移近傍の一粒子描像に関する研究」研究の遂行のため解析を進めた。関連論文を国際紙に投稿した。関連学会にて研究発表を行った。他大学あるいは他研究所と国内的共同研究を進めた。 | |
| 社会貢献 | 0.15 | 琉球大学公開講座へ貢献する。霧箱を製作し、「霧箱で素粒子を見る」というタイトルで講演、演示実験を行い物理の魅力の紹介を行う。県内の小中高校および公的機関に出前授業を行う。沖縄県商工会連合会との連携を進め、合同会議や講演などに参加する。県内企業を中心とした産官学連携を進める。 | | 0.15 | 琉球大学公開講座:体験!最先端物理学の世界2014「質量の謎に迫る」へ貢献した。霧箱を製作し、「霧箱で素粒子を見る」というタイトルで演示実験を行い物理の魅力の紹介を行った。 | |
| 管理運営 | 0.10 | 系内システム委員として、メールサーバー、計算機サーバーの管理運営を行う。紀要編集委員として、研究成果のとりまとめを行う。 | | 0.10 | 系内システム委員長として、メールサーバー、計算機サーバーの管理運営を行った。紀要編集委員として、研究成果のとりまとめを行い2つの号を発行した。 | |
| 進路指導 | 0.05 | 卒業研究生、大学院生の進路に対する助言等を行う。学生からの相談があれば積極的に指導する。 | | 0.05 | 卒業研究生、大学院生の進路に対する助言等を行った。学生からの相談があり、助言と指導をおこなった。 | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|---|
| 名 前 | | 田原 周太 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 |
| | | | 職 名 | | 助教 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.35 | 物理学実験で工学部(前期)及び医学部(後期)の1年生への実験指導を行う。物理系2年生対象の解析力学演習で演習指導を行う。また、大学院生を対象とした講義「構造不規則系の物性論」を開講する。卒業研究生の指導として研究室ゼミや卒論指導などを行う。 | | 0.35 | 当初の予定通り「物理学実験」で工学部と医学部の1年生を対象とした実験指導を、「解析力学演習」で物理系2年生に対する演習指導を行った。大学院生を対象とした講義「構造不規則系の物性論」も予定通り開講した。講義「科学方法論」を新たに担当することになり、3回の授業を通して「大型加速器施設を使った科学」について解説した。また研究室に配属された4年生に対し、卒業研究指導を現在順調に行っている。 |
| 研究 | 0.45 | 超イオン導電体や熔融塩混合系に対する高エネルギー量子ビームを用いた散乱実験、誘起分極イオンモデルを用いた分子動力学シミュレーションによる構造やイオン拡散の研究を行う。外部資金獲得のため、助成申請を積極的に行う。 | | 0.45 | Spring-8による高エネルギーX線回折実験やJ-PARCにおける中性子回折実験を実行した。またそれと同時に、分子動力学シミュレーションを用いて実験データの理解を進めることや、学内実験室における電気伝導率測定装置の構築も、研究室に配属された学生の研究指導を兼ねて行っており、学内における研究の足場固めも少しずつ進んでいる。琉球大学に赴任してからの研究成果による論文出版も行い、さらに複数の論文出版に向けて着々と準備を進めている。外部資金獲得のために、科研費や宇琉麻学術研究助成基金などに積極的に申請を行った。 |
| 社会貢献 | 0.05 | 佐賀シンクロトロン大学間連携会議委員、琉球大学物性研究会実行委員として、活動を行う予定である。 | | 0.05 | 今年度の佐賀シンクロトロン光大学間連携会議の開催が学内業務の日程と重なったため、鳥栖市まで出張することはかなわなかったが、琉球大学公開講座の担当教員の一員として加わり、当初予定していなかった社会貢献活動に参加した。特に今年度は「光速近くまで加速した粒子の使い方」という題目で大型加速器施設の現状とこれからの展望について、中高生でも面白さが伝わることを目指して講演させて頂いた。 |
| 管理運営 | 0.10 | 理学部物質地球科学科の物理系会議(毎週水曜日)へ参加する。研究科委員会(前期)にも参加する。3年次指導教員として、3年次生の大学生活をサポートする。理学部エコ推進委員会委員として活動を行う。物理系懇親会幹事として活動する。 | | 0.10 | 出張や病気などの止むを得ない事情による欠席を除き、系会議や研究科委員会等に参加してきた。今年度からカリキュラム検討委員として、講義担当者の検討などに参加した。物理系親睦会幹事として、系内教員やご親族の不幸事に対する弔電の手配や物理系の忘年会の実行などをこなし、現在は新任教員の歓迎会を検討している。また3年次指導教員を頼って部屋を訪れてくる学生に対し、適切にアドバイスなどを行ってきたつもりである。 |
| 進路指導 | 0.05 | 研究室配属学生へ就職関連の情報提供を行うなどして支援する。3年次指導教員として、情報提供を行う。 | | 0.05 | 物理系事務からメールによって伝えられてくる就職関連情報を、研究室配属学生および3年次生に転送し、情報提供を行ってきた。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前 | | 藤田 和彦 | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | 職 名 | 准教授 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|-----|
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | |
| 教育 | 0.25 | 担当科目(海洋微古生物学など)の講義内容の改善に努める。 | | 0.20 | 担当科目の内容を一部更新した。特に地層学ではミニテストやレポートの内容を改善した。 | |
| 研究 | 0.35 | 1. 国際学術雑誌への論文受理を目指す。 2. 海外の大学との国際共同研究を進展させる。 3. 再来年度の大型研究費の獲得に向けた準備を進める。 | | 0.35 | 1. 国際学術雑誌に5編の論文(内第一著者3編)が受理された。 2. 香港大学との共同研究を進め、新たにオーストラリアの研究者との共同研究を始めた。 3. 再来年度の科研費申請課題案が具体化した。 | |
| 社会 貢献 | 0.10 | 教員免許更新講習「琉球列島の成り立ち(野外地質巡検)」を準備・実施する。 | | 0.05 | 教員免許更新講習で20名の受講生に対して、琉球列島の地史に関する野外実習を実施した。 | |
| 管理 運営 | 0.20 | 代議員として、理学部・地学系の運営活動に積極的に取り組む。 | | 0.30 | 代議員として代議会へ出席し、理学部・地学系の運営に携わった。 理学部サンゴ礁研究教育ハブ形成プロジェクトで2015年3月に出版される本「琉球列島の自然講座」の編集委員として編集に携わった。 | |
| 進路 指導 | 0.10 | 学生の視点に立ったコミュニケーションを常に心がけ、進路の相談に当たる。 | | 0.10 | 適宜学生の進路相談に当たり、2名の学生が企業から内定を頂いた。 | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前 | | 松本 剛 | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | 職 名 | 教授 |
|---------------------------------------|---------------------|--|-----|---|--|----|
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | |
| 教育 | 0.25 | 引続き、共通教育・専門教育科目を提供する。今年度は新たに、新設科目「海外自然科学研修」を分担し、地球物理分野・天文分野の基礎教育を行うとともに、教職の必修科目「地学概論」の天文分野を分担する。 | | 0.25 | 従前の科目に加えて、新規開設の「海外自然科学研修」、「地学概論」の2科目について分担し、ハワイホットスポットの活動度の変遷とテクとニクス、天文分野の基礎知識に関する講義を行った。 | |
| 研究 | 0.25 | 引続き、地磁気観測による大洋中央海嶺の拡大の安定性の研究、琉球列島周辺の海底地殻変動の研究、南極大陸周辺の海底地形の形態に関する研究を展開する。 | | 0.25 | 大洋中央海嶺の拡大の安定性の研究結果を5月の日本地球惑星科学連合大会で発表した。また、地磁気観測でセンサーを船舶の後方に曳航する際のセンサーの位置を求めるプログラムの開発を行った。 | |
| 社会貢献 | 0.15 | <ul style="list-style-type: none"> 公開授業科目(学内及びサテライトキャンパス)を提供する。 教員免許更新講習科目を提供する。 高大連携事業に積極的に協力する。 | | 0.15 | 「海洋の科学」・「天体観測を通して学ぶ宇宙」の2科目を、公開授業として提供した。教員免許更新講習は、西原及び石垣で各1回実施した。県外高校の修学旅行生を対象とした体験授業「海洋の科学」を5回実施した。 | |
| 管理運営 | 0.25 | 引続き就職センター長として、学生の進路決定のための支援を行う。今年度は特に、インターンシップを活用した新しいキャリア教育プログラムの整備に着手する。 | | 0.25 | 文部科学省の補助事業として採択されたインターンシッププログラムの責任者として、「沖縄地域インターンシップ推進協議会」を立ち上げ、会長として全体を統括するとともに、県内大学の計65名の学生をインターン生として、県内企業に派遣した。 | |
| 進路指導 | 0.10 | コース・研究室所属学生の希望進路に応じた助言を行う。特に、公務員・教員志望学生については、3年次から採用試験の準備を行うよう、指導・助言する。 | | 0.10 | 当該学生に対し、県内官署による学内の国家公務員合同説明会や、女性のための公務員説明会の開催を案内するとともに、次年度、採用試験が一部変更となることなどの助言を行った。 | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前 | 山田 広幸 | | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | | 職 名 | 准教授 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|-----|-----|
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | | |
| 教育 | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当する講義を、受講者の能力・学習態度を考慮しながら進める。 ・研究室に配属された3名の卒業研究の指導を実施する。 ・気象概況説明会「weather briefing」を週1回開催し、学生の気象に対する興味を高め、大気現象への理解を深める手助けをする。 | | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・担当講義と試験について、受講者の能力を考慮しながら準備・実施した。 ・学生3名の卒業研究の指導を実施し、1名は9月に卒業した。 ・気象概況説明会「weather briefing」を週1回開催し、学生の気象に対する興味を高め、発表技術の向上に努めた。 | | |
| 研究 | 0.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・継続中の科研費2件(基盤C代表、および基盤B分担)の研究を計画通りに進める。 ・名古屋大学との共同による気象レーダー観測を遂行する。 ・JAXAとの共同研究である衛星データ解析を行う。 ・沖縄電磁波技術センターの気象レーダーを用いた研究を進める。 | | 0.25 | <ul style="list-style-type: none"> ・科研費による地上気象観測装置の導入と運用を行った。 ・気象レーダーの観測を実施した。 ・衛星データの解析を行った。 | | |
| 社会貢献 | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・日本気象学会の国際誌JMSJ/SOLAの編集委員を継続する。 | | 0.15 | <ul style="list-style-type: none"> ・JMSJ編集委員を継続し、多忙によりSOLA編集委員は担当交代した。 ・日本気象学会沖縄支部会理事に任命された。 ・台風の雨に関する講演を、沖縄気象台、南大東島地方気象台等で行った。 ・球陽高校に気象ステーションのweb表示システムを提供した。 | | |
| 管理運営 | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学理学部気象ステーションの維持管理を行う。 ・理学部屋上に設置した名古屋大学レーダーの維持管理を行う。 ・琉球大学理学部紀要の編集に従事する。 ・島嶼防災センターの運営委員としての任務を果たす。 | | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・琉球大学理学部気象ステーションの維持管理を行った。 ・理学部屋上に設置した名古屋大学レーダーの維持管理を行った。 ・琉球大学理学部紀要の編集に従事した。 ・島嶼防災センターの運営委員としての任務を果たした。 | | |
| 進路指導 | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究室に所属する学生、院生の進路や就職についてサポートを行う。 | | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・3名の卒業予定学生については、1名が警察、1名が民間企業に就職が決まり、1名が公務員試験に来年度挑戦することになった。 ・アフガニスタンからのJICA留学生に対し、現地での気象観測に役立てるよう、雨量観測データを用いた降水特性の研究方法を教授した。 | | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 | | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前 | | 伊藤 耕介 | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | 職 名 | 助教 |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|----|
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | |
| 教育 | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・赴任初年度にあたり、後期から担当する授業資料を学生の理解度などに合わせながら、作成する。 ・研究室の学生とのセミナーを通じて、研究室の学生自身が簡単な数値シミュレーションモデルを用いて数値実験できるようにする。 | | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・全学共通科目向けの後期の授業を初めて担当したほか、地学系の学生の専門書輪読を通じた指導を行った。 ・研究室配属となった3年生が、自ら簡単な数値シミュレーションを行えるように指導した。 | |
| 研究 | 0.40 | <ul style="list-style-type: none"> ・大気海洋結合モデルを用いた台風強度予測に関する研究成果を国際誌に出版する ・高度なデータ同化手法に基づく台風予報システムJCHIPSの開発を進め、プロトタイプ版を完成させる。 | | 0.50 | <ul style="list-style-type: none"> ・大気海洋結合モデルを用いた台風強度予測に関する研究成果を国際誌に出版するとともに、記者発表を行った。 ・台風予報システムJCHIPSのプロトタイプ版を完成させた。 | |
| 社会貢献 | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・台風の一般的な知識に関する書籍を執筆・出版し、防災意識の啓蒙に努める。 ・台風に関する研究会「台風セミナー2013」を沖縄で開催する。 | | 0.20 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝倉書店から一般向けの書籍「台風の正体」を出版した。 ・「台風セミナー2013」(荒天のため中止)の代替となる研究会を開催した。 ・沖縄気象台と石垣島地方気象台で、最新の台風研究の知見を職員向けに紹介し、意見交換を行った。 | |
| 管理運営 | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・理学部や地球物質科学科の管理運営活動を補佐する。 | | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・入試の試験監督を担当したほか、学内の委員を務めた。 | |
| 進路指導 | 0.10 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究室の学生の進路相談に応じ、過去の学科の実績などを踏まえて、進学・就職に関する適切な情報を与える。 | | 0.05 | <ul style="list-style-type: none"> ・研究室配属となった3年生に対し、進学・就職に関する情報を提供した。 | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | |
| 計 | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | <ul style="list-style-type: none"> ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目)

| 名 前 | | 中村 衛 | 所 属 | 理学部 物質地球科学科 | 職 名 | 准教授 | |
|---------------------------------------|---------------------|---|-----|---|--|-----|--|
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 | | |
| 教育 | 0.20 | 各講義に関して質問用紙を毎回配布し、講義をどの程度理解しているか、学生から積極的に意見を徴収する | | 0.20 | 地震学および固体地球物理学で質問用紙および簡単な計算を行う小テストを毎回実施し、理解度の確認を行った。学生アンケートによる総合評価は5段階で4.0および4.5(良い~大変良い)と、簡単な計算を行う小テストで理解度を確認する効果が見られた。 | | |
| 研究 | 0.30 | 琉球海溝および台湾での巨大地震津波発生可能性研究を推進するため、他大学との共同研究を進める。研究成果を国内外で学会発表および論文投稿する。 | | 0.30 | 9月に名古屋大学と、11月に静岡大学と海底地殻変動観測を琉球海溝にて実施した。台湾にて津波堆積物野外調査を桜美林大との共同研究で実施した。地震津波に関する研究成果は国際学会(4回)、国内学会(2回)にて発表した。また英文査読誌3本にて出版された。 | | |
| 社会貢献 | 0.30 | マスコミおよびインターネットを通じた研究広報活動を行う。一般向け講演活動を行い防災活動の普及に努める。県の委員会に参画し防災に関する知見を提供する。 | | 0.30 | 沖縄県津波浸水想定設定委員会委員および沖縄市津波避難ビル基本計画業務委員に参画した。5月に沖縄県立博物館・美術館にて、10月に石垣島にて、12月に沖縄気象台にて講演を行った。沖縄県内地方自治体に対し津波対策に関する知見を提供した。研究成果をマスコミに対しプレス発表し、一部放送された(3月13日RBC)。 | | |
| 管理運営 | 0.10 | 理学部電算化委員会委員および全学情報セキュリティ委員会委員として理学部計算機室の運営および理学部内情報システムのセキュリティ管理に務める。広報委員として地学系ホームページおよびパンフレットの充実にあたる | | 0.10 | 電算化委員会委員および次期キャンパス情報システム仕様策定委員会として活動し、次期コンピュータ室PC仕様策定計画に関与した。広報委員会および研究推進委員会および乗船実習委員会にて活動した。全学学士教育プログラム委員会似て活動した。 | | |
| 進路指導 | 0.10 | 就職セミナーおよびインターンシップへの学生の参加を促す。就職活動 | | 0.10 | 就職セミナーへ参加を促し、さらに学内で行われた就職支援策への参加を促した。 | | |
| | 0.00 | | | 0.00 | | | |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう、記入してください。 ・記入量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記入してください。 | | |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には、右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | | | |

(別紙1) 本シートは平成27年5月以降に学内外へ公表されます。

| 平成26年度 教員活動における年度目標・自己点検結果シート(1枚目) | | | | | |
|--|---------------------|---|-----|---|---|
| 名 前 | | 浅海 竜司 | 所 属 | | 理学部 物質地球科学科 |
| | | | 職 名 | | 准教授 |
| 領域 | 業務 ウェイト比 (予定) | 平成26年度 年度目標設定 | | 業務 ウェイト比 (実績) | 平成26年度 年度末自己点検結果 |
| 教育 | 0.30 | 琉球大学理学部物質地球科学科の「地球の科学(共必, 学部1年)」、「基礎ゼミ(必, 学部1年)」、「海洋地学実習(必, 分担, 学部1年)」、「古環境学(専選, 学部2年)」、「炭酸塩地球科学(専選, 学部3年)」、「海洋地学研究法I・II(必, 学部3年)」、「地史学実習(選, 分担, 学部3年)」、「地球環境学特論I・II(選, 院生)」、「海洋地学セミナーI・II(必, 学部4年)」、「卒業研究I・II(必, 研究室所属学部4年4名)」を担当し, 学部1年から院生までの各学年層に適した内容の授業を提供する。 | | 0.40 | 「地球の科学(共必, 学部1年)」、「基礎ゼミ(必, 学部1年)」、「海洋地学実習(必, 分担, 学部1年)」、「古環境学(専選, 学部2年)」、「炭酸塩地球科学(専選, 学部3年)」、「海洋地学研究法I・II(必, 学部3年)」、「地史学実習(選, 分担, 学部3年)」、「地球環境学特論I・II(選, 院生)」、「海洋地学セミナーI・II(必, 学部4年)」、「卒業研究I・II(必, 研究室所属学部4年4名)」、「修士論文(1名)」を担当した。幅広い学年層を対象とし, 複数形態の授業を実施したことで, 当初の目標以上に, 教育力の向上と経験を積むことができた。また, 研究室9名(院生1名, 学部4年4名, 3年4名)の教育指導に取り組んだ。 |
| 研究 | 0.50 | 今年度採択された科学研究費補助金(若手A:代表, 挑戦的萌芽:代表, 基盤B:分担, 海外学術基盤B:分担)を用いて, 鍾乳石, 硬骨海綿, サンゴ, 腕足動物に基づいた現代～過去の環境解析研究を実施する。本学理学部および部局外との国際・国内共同研究(10件)を推進し, 第四紀気候変動解析研究を実施する。随時, 成果を査読付ISI国際学術論文, 国内国際学会等で発表する。 | | 0.30 | 科学研究費補助金(若手A:代表, 挑戦的萌芽:代表, 基盤B:分担, 海外学術基盤B:分担)による研究を推進した。成果として, 査読付ISI国際学術論文(2編), 国際学会(1件), 国内学会(9件, 1件は優秀発表賞)で発表した。また, 所属部局内外との共同研究(10件)なども実施し, 当初の目標を達成できた。 |
| 社会貢献 | 0.05 | 日本地質学会の評議員として, 一般社会・中高生へ地球科学の情報等を発信し, 学会の発展に貢献する。 | | 0.05 | 日本地質学会の評議員として学会の発展に努めた。また, メディア(TV1件, 新聞1件)において情報提供, 発信を行った。 |
| 管理運営 | 0.05 | 琉球大学理学部理学部教授会, 理工学研究科(前期)委員会, 理学部物質地球科学科会議に参加し, 管理運営に関わる。学科の各種委員会(予算編成委員会, 選挙管理委員会)を務める。 | | 0.15 | 研究推進委員会, 予算編成委員会(委員長), 選挙管理委員会, 保有個人情報管理委員会, 情報公開委員会, 仕様策定委員会委員長を務めた。 |
| 進路指導 | 0.10 | 研究室所属の学部4年生(4名)と3年生(2～4名を予定)に対して定期的に面談し, 各自の意向を尊重して進路(民間企業就職活動・公務員試験・進学)の助言をする。各進路のスケジュールに柔軟に対応するため, 4月に卒業研究の具体的な年間タイムテーブルを作成するとともに, 留年することがないよう毎週～隔週で進行状況を確認, 指導する。 | | 0.10 | 研究室所属の修士学生(1名), 学部4年生(4名)と3年生(4名)に対して定期的に面談し, 各自の意向を尊重して進路について検討し, 各進路のスケジュールに柔軟に対応するため, 4月に卒業研究の具体的な年間タイムテーブルを作成するとともに, 留年することがないよう毎週～隔週で進行状況を確認, 指導した。 |
| | 0.00 | | | 0.00 | |
| 計 | 1.00 | ・ウェイト比が1.00となるよう, 記入してください。 ・記入量に応じて, 枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は, 「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。 | | 1.00 | ・ウェイト比の実績が1.00となるよう, 記入してください。 |
| ※当該シート(表)の公表に同意しない場合には, 右記にチェックしてください。 | | | | <input type="checkbox"/> 学外公表に同意しない。 <input type="checkbox"/> 学内公表に同意しない。 | |